

スタンリー・キューブリック

Stanley Kubrick

生年月日 1928/07/26

出身地 アメリカ／ニューヨーク市ブロンクス

没年 1999/03/07

クリスティアーヌ・キューブリック（元妻）

ヤン・ハーラン（義弟）

ルース・ソボトゥカ（元妻）

ヴィヴィアン・キューブリック（娘）

【バイオグラフィ】

■ 13歳のときに父にもらったカメラに熱中。その腕前は16歳の時に“ルック”誌に写真が載るほどで、既に才能の片鱗を窺わせていた。17歳で同雑誌の社員となるが、近代美術館のフィルム・ライブラリーに通ううちに映画に興味を抱く。51年に短編ドキュメンタリー“Day of the Fight”を撮り、25歳のときに叔父から借りた金で最初の長編を完成させて配給されるに至った。第二作「非情の罠」はUAが買い取り上映。56年の「現金に体を張れ」が高く評価され、「突撃」がヒット。次いでピンチヒッターとして嫌々引き受けた「スパルタカス」で大作も撮れる監督として評価され、「博士の異常な愛情／または私は如何にして心配するのを止めて水爆を愛するようになったか」、「2001年宇宙の旅」、「時計じかけのオレンジ」の“SF三部作”を完成。世界的な映像作家としての地位を確立した。他に「シャイニング」、「フルメタル・ジャケット」など、常に完璧主義を貫き通してどの作品も話題になった。51年に離婚後、ルース・ソボトゥカと再婚したが3年後に離婚。その翌年にスザンヌ・クリスチャンと再婚した。99年、「アイズ・ワイド・シャット」完成直後に死亡。次回作として準備されていた「A. I.」はスピルバーグが引き継いで完成された。

【フィルモグラフィ】

キューブリックが語るキューブリック (2020)

A. I. (2001)

アイズ ワイド シャット (1999)

フルメタル・ジャケット (1987)

シャイニング (1980)

出演
原案
監督,
製作,
脚本
監督,
製作,
脚本
監督,
製作,
脚本

